

第3回 学校跡施設活用検討会議 議事要旨			
日 時	平成20年11月18日(火) 18:30~20:30	場 所	練馬区役所本庁舎5階 庁議室
議事次第	1. 開 会 2. 第2回検討会議議事要旨(案)の確認 3. 議事 (1) 第2回検討会議での要点整理 (2) 学校跡施設の活用方策の検討 4. 閉 会		
配布資料	1. 第2回検討会議議事要旨(案) (資料1) 2. 第2回検討会議での要点整理 (資料2) 3. 第2回検討会議で提案された活用用途一覧 (資料3) 4. 光が丘地域および学校跡施設のライフステージ (資料4) 5. 区が学校跡施設として活用を想定しうる施設等の類型化 (資料5) 6. 参考資料 (1) 地域集会施設の利用率 (参考1) (2) 避難拠点について (参考2) (3) 学校開放実績(光が丘地区) (参考3) (4) 統合準備会だより第3号 (参考4) (光が丘第三小・光が丘第四小) (5) 多摩ニュータウンにおける学校跡施設活用状況 (参考5)		
出席者	【検討会議委員(50音順)】 秋山真理、上杉道子、遠藤薫、尾添博、川下晃弘、下向薫、杉浦浩、高橋司郎、森田善朗、横山正二 【練馬区】 企画部長、事務局(企画課) <div style="text-align: right;">(敬称略)</div>		
傍聴者	7名		

議 事 概 要

会長 幹事	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶。 ・事務局について、11月1日付で企画課長の人事異動があったため、ご報告する。
会長 各委員 会長	<p>2. 第2回検討会議議事要旨（案）の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の議事要旨の確認をお願いする。これは事前に各委員にご確認いただき修正したものである。記載内容に誤り等はないか。 ・－異議なし－ ・これで確定し、後日、区のHPに掲載する。
委員	<p>3. 議 事</p> <p>【資料2 第2回検討会議での要点整理，資料3 第2回検討会議で提案された活用用途一覧に基づき説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は、教育の歴史や、地域住民の活動の場等の実績もあった。そのため、教育，地域の視点は十分に意義がある。 ・ただし、異なった視点も必要であり、当地域は、開発当時、アメリカから返還された地域ということで全国的にも注目された地域である。その地域で4校まとめたの学校跡施設の活用をするとすると、世間からも注目を浴びるのではないか。そのため、地域、区という観点も必要だが、もっと幅広い観点が必要であると考える。 ・練馬区から全国へ発信できる斬新で画期的なものも良い。全国的に解決すべき課題を克服するような活用が良い。 ・全国的な課題を挙げると、少子化が進む中では働く女性への支援、高齢化が進む中では医療・介護の充実、家庭崩壊や核家族化という中では健全かつ育成の支援、地球環境の問題等である。 ・働く女性への支援では子育てを支援する施設、医療介護では介護する側に対しての支援施設、地球環境の問題では、例えばソーラーシステムを備えた科学館等である。 ・利用者が限定されない施設が良い。 ・学校跡施設の活用においては、費用の問題がある。このため民活も十分考慮する必要があり、運用経費は原則的に利用者、受益者負担にすべきではないか。 ・資料2の修正にもなるが、“教室等の一般利用は実際に難しく”とあるが、授業に支障の無い限りということで教室等は開放されている。ただし、利用されるケースは、学校によって格差がある。
委員	

事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2については表現を修正する。 ・要点整理において、高齢化を防ぐことが必要とあるが、高齢化は防ぐことはできない。その文言を修正いただきたい。 ・資料3について、近隣需要はどこを示しているか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣は光が丘地域である。 ・評価のABCの判定の基準は何か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・区内需要であれば、長期計画で示しているもののうち、全区的にまだ未整備のものである。近隣需要であれば、保育園を例にすると、区内需要はあるが、光が丘地域では充足されているということで示している。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2は公開するのか。 ・原則的には資料を公開する。ただし、ご指摘いただいたことについては、修正したい。また、資料の中に、注として事務局で整理したものであるというようなことを付記したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化は確かに進む。ここに入居した世代は概ね40代の方々と、20数年経ち、その間、子供は成長し地域外へ転出するため人口が減ってきた。 ・しかし、どこまでも高齢化が進むかと言うと、必ずしもそうではない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々が活動していることは事実である。学校を活用している方々を考えると、1校は地域の人が利用する、1校は全国発信のためというような利用方法もあると思う。
	<p>【資料4 光が丘地域および学校跡施設のライフステージ、資料5 区が学校跡施設として活用を想定しうる施設等の類型化、資料1 地域集会施設の利用率、資料2 避難拠点について、資料3 学校開放実績（光が丘地区）、資料4 統合準備会だより第3号（光が丘第三小・光が丘第四小）、資料5 多摩ニュータウンにおける学校跡施設活用状況に基づき説明】</p>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・暫定利用の年数については、区はどのように考えているか。 ・暫定利用の年数は、現時点では明確に定めていない。ここでは20年というスパンで考えられる活用策をご検討いただいている。ただし、既存校舎の建替もせざるを得ない選択をした場合は、もっと短い期間での暫定活用もあると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・働く女性の支援となると、時間的な制約（一般的な施設には5時までしか子供を預けることができない等）等があったりするので、ある程度踏み込んで考える必要がある。女性が安心して働けるように支援する場があると良い。 ・医療介護の支援については、60歳が80歳を診る等、老老介護の問題等が解決できる施設が必要ではないか。 ・環境問題の観点からは、光が丘地域の周りも畑が無くなってきているため、校庭に大規模農園を作ることも考えられる。 ・子供の観点からは、サッカー、野球をしない子供もいる。本を読んだり、友達と話したりできる、そのような施設も考えられるのではないか。 ・区内では救急医療施設が少ないため、そのような施設も必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校跡施設の利用期間が20年というのは短いのではないか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数 60 年とすると、今から 20 年後としても 60 年に達しない。その 20 年だけでなく、40 年利用するということは可能であるが、ここで議論する目安の一つとして 20 年のスパンということで考えたほうが、考えやすいのではないかとということで提案させていただいている。また、20 年経った後に、必ず建替えるということではなく、その時になってさらに 20 年利用するということも視野にいれながら検討していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の議論は、資料 3 を充実させていったほうが良いと思う。 ・資料 2 に区民のニーズと書いてあるが、区民のニーズを様々なアンケートから全区的なニーズ、地域的なニーズが汲み取れないかと思う。 ・資料 3 では、4 校のどの施設も立地条件上の差はないとあるが、例えば防災カレッジを例にあげると、放水や瓦礫からの救出訓練などが考えられているが、中学校と校庭が隣接していると万一危険があるなどといったことからどの学校でも良いとは言えない。このようなことが他の事業でも考えられるので、各担当課に詳しいヒアリングをしたほうがよい。 ・子育てひろば、保育園、学童クラブ等は、地域的施設でありながら、近隣需要としてはあまりないということになっている。光が丘地域として本当に必要なのかという視点も入れて資料 3 を充実させてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回以降、資料 3 を議論の主体にしていきたい。ただし、今回は資料 3 に挙げられている活用方法以外のものもあるのではないかとということをご意見いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・光が丘地域には非常に外国人が多い。現在、そのような方々との交流の場が無い。そのような交流の場が必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・光が丘地域には、外国人との交流の場が全く無いわけではない。例えば、日本人が外国人を対象として日本語教室を開いたり、その逆の場合もある。また、避難拠点として昨年、光が丘第 6 小学校で外国人や小学校に通う親子による宿泊体験もやっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校跡施設の活用は、教室毎、あるいは時間帯等で別々に貸すということを考えても良いのであれば、これまでの議論の活用方法については全部入ってしまうのではではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校跡施設の活用方法については、分割し複合的に利用することも考えて良いか。時代の変遷とともに利用ニーズも変わる。そのような柔軟性も考えて良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いかに学校跡施設を有効に使うかということであるためそのような活用方策もある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 3 において、例えば、産業振興の部分では、活用施設概要についてもう少し具体的な内容を入れられないか。空き教室等を定期借家等で収入につなげたり、結果的に若者の雇用の場にしたりということもできるのではないか。もう少しメニューがあるのではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校跡施設の活用を検討する上では収益性、公益性というような枠は無いといふことで良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらを優先するということはない。ただし、公共で利用しているものなの

委員	<p>で、必ずしも収益性だけに捉われる必要も無いと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業支援施設について、例えば新潟県の廃校では、教室を借りて会社を立ち上げている。3年程度の期間限定で、割安な価格で借りており、ある程度収入が得られるようになったら移転している。 ・都内では早稲田実業の校舎を早稲田大学の大学発ベンチャーに一定期間貸し出すということもある。練馬区でもこういうことを実施していただきたい。 ・貸し出す対象として、区民に限定することはやめたほうが良い。起業アイデアを持つ人について広く募集したほうが、産業への波及効果もある。 ・産業としてアニメ産業を振興するということがあるのならば、できるだけ集まった起業家がコラボレーションできるように、業種をある程度限定した方が良い。 ・小学校跡施設の利用について、既存施設をそのまま利用するというのであれば、小学校と活用方法とでミスマッチが無いほうが良い。アニメ、ゲーム等で産業を起こした場合、体育館を展示の場としても使える等、活用方法も広がってくる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興としてIT、アニメ、映像、音響等いろいろあるが、区民を含むということで、広い範囲で募集することも良い。 ・学校跡施設を24時間体制で利用すると、施設の改善が必要である。夜間の利用を前提にしていないため夜間は暗い。避難拠点で学校宿泊体験をすると、夜間が暗いため警備に気を使う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を活性化するならば、ベンチャー企業等への施設の提供も必要である。 ・練馬区にこのような施設があるということについて、全国視点で考える必要がある。 ・練馬区に人を呼び込むということが必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・次のような機能を個人的には考えている。 ・セミナーハウス。交流を目的として、都会の子どもが地方へいくことがあるが、地方から都会へ都会学校のような施設や、区民が2~3日間ちょっとした合宿に使うなど、合宿や研修ができる場に。 ・各年代のニーズも考えたほうが良い。起業については、若者だけでなく団塊世代もある。また最近ではコミュニティビジネスも盛んになっており、起業をサポートするような場（交流、講習、相談の窓口等）というものを。 ・中高生では、児童館として放課後など集える場、できれば21時以降も集える場。 ・サラリーマン、大学生等では、仕事・勉強が静かにできる場など。 ・このように多様なニーズが考えられるので、次回までに各委員の考えを事務局に送る形をとってはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日大光が丘病院の代替用地については重要な問題である。次回、このことについて、区がどのような考えを持っているかを聞かせて欲しい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3で挙げられているもの以外で、必要な追加提案があれば、各委員から事務局に提出してもらおう。 ・産業振興では、具体的な名前よりも、産業全般についてどのような機能があ

幹事	<p>るか等を調べてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・次回は補強された資料3を基に議論していく。 <p>4. 閉会</p> <ul style="list-style-type: none">・資料3の追加提案については、様式は自由とし、今月中に事務局へ資料を送付いただきたい。・次回は、12月15日（月）18時30分、場所は同じく庁議室にて行う。 <p style="text-align: right;">以 上</p>
----	---